

合藥製方取締書

郷中定書覚

一 十津川郷之儀者、従往古御由緒有之場所柄ニ付、郷中所持之鉄炮四百六拾五挺御座候処、今般異国船防禦御手当方御嚴重之上八、何時ニ而モ罷出御用相勤可申覚悟ニ罷有候、依之以来郷中入用手当硝石合藥郷内ニ而製度惣代を以御伺奉申上候所、製法場所御尋ニ付、場所不申上候而八御役所表御聞濟無之ニ付、則谷瀬村・風屋村・野尻村ト申上候、然共右三ヶ村ニ不限、惣代ニて相願候ニ付、何レ之村方ニ而製候共、右三ヶ村より聊差支故障無之筈、猶外方より買入之義も先規之通り
依而連印如件、

長殿村庄屋代

平岡作右衛門 印

沼田原村庄屋

辻 村 政蔵 印

小川村庄屋

東 政之進 印

(下略)